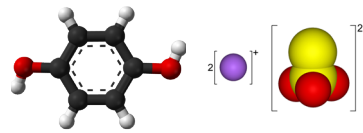


ARS-IMAGO MB MONOBATH

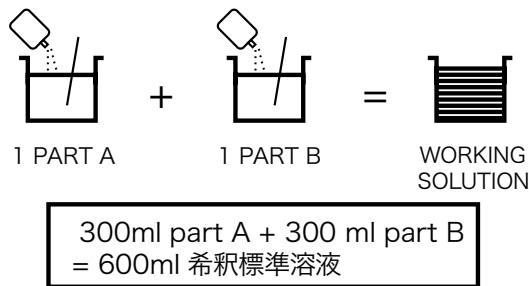


ARS-IMAGO MB MONOBATHは、1つのソリューションで現像と定着を行う、白黒フィルム用のモノバス液現像剤です。それはバランスのとれた色調の表現と中高コントラストを得られます。

準備

ARS-IMAGO MBモノバスは、現像工程の前に事前にパートA(現像液)とパートB(定着液)を混合する現像液です。

A + Bストック:パートAとパートBを同量混ぜることで、何度も再利用できる実用的な現像液です。推奨現像時間は8分です。



温度

温度は現像に大きな影響を与えるわけではありませんが、18°Cから24°Cの間でなければなりません。(推奨20°C)

攪拌

タンクでのフィルム現像に推奨される攪拌は、フィルムが完全に浸されている場合、最初の30秒間は連続し、残りの現像時間は30秒ごとに2回反転します。各攪拌の終わりに、フィルムの表面に気泡が形成されないように、作業机の上のタンクをたたきます。

容量/期間

ストックソリューションを使用すると、6か月間で最大15本のフィルムを現像できます。この間、溶液の色が若干変わり、残留物がボトルの底に現れる場合がありますが、現像の結果と効果に影響を与えません。ストックソリューションの容量と期間は、保証されているものよりも長い可能性があります。希釈した現像液はなるべく早く使用し、使用後は廃棄することをお勧めします。

お勧めフィルム

最良の現像結果は、IlfordHP5、FP4およびPanF、Kodak Tri-x、Rollei RPX、Fomapan、Kentmereのような立方体粒子フィルムで得られます。

Ilford Delta、Kodak T-Max 200、FomapanなどのTグレインフィルムでこのソリューションを使用することはお勧めできません。

ネガが不規則なもしくは乳白色の縁を持っている場合、迅速定着浴が必要です。

長期間安全に保管する必要があるアーカイブ保管のためには、現像数日後であってもネガを第二の定着液にすることを予防策として推奨します。

*子供の手の届かないところで保管してください。

650mlのタンクを使用する場合は、ストック溶液と希釈溶液の両方に50mlの水を加えることができます。その場合も推奨される現像時間を変えずに、現像できます。